

## しのばず自然観察会より 2020-05 2020.05.27

### しのばず自然観察会今後の活動について

☆新型コロナウイルス感染拡大防止のために、しのばず自然観察会では3月より3密を避け人が集まる行為を自粛してきました。政府の緊急事態宣言は5月25日に解除となりました。しかし、都県境をまたぐ外出自粛の要請は続いています。また、公共輸送機関の込み具合を見極める必要もありそうです。東京の谷中地区では大型連休明けから観光客と家族連れの人出が増し、住民としては不安を感じています。そこで大事をとって、しのばず自然観察会の野外活動と室内学習会の停止を6月まで続けようと思います。また、活動再開に当たっては、集合時刻をこれまでの標準10時より遅らせる必要があるかもしれません。  
(代表幹事 小川潔)

☆遠くへ出かけることを自粛せざるを得ない今こそ、身の回りの自然を再認識するチャンスです。会員の身近な話題をお寄せください。本通信やホームページで紹介します。

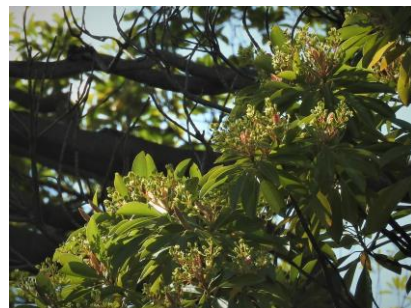
### ミカン科の新芽にアゲハの幼虫がいました

谷中では5月半ばに、カラタチの新芽にアゲハ（ナミアゲハ）の幼虫が見られました。はじめ10匹（頭）いた幼虫は1週間ほどのうちに1匹に減り、5月下旬の週末にはゼロとなりました。小学生の通学路にある我が家では、例年だとアゲハの幼虫をめぐって子どもたちとの争奪戦になるのですが、学校が臨時休校になっていてしばらく休戦中です。鳥に食べられてしまったのでしょうか。



### タブやミズキの花咲く 谷中霊園にて

谷中霊園ではニリンソウの花が終わって、木の花が目につきます。ミズキの白い花の集まり（花序）が開き始め、シイやタブの花盛りになりました。どれも目立つ花びらがあるわけではありませんが、よく見ると花とわかります。右は4月25日、澁澤栄一さんの墓所にあるタブの大木の枝先の写真です。墓所の塀を除去し公開する工事に際し、この木を2年にわたる根回しをして移植した経緯があり、生育が心配されましたが開花してひと安心しました。



## 不忍池のハス 新芽出そろう

5月中旬になり、不忍池のハスが葉を広げ、蓮池を新緑ですっかり覆っています（右の写真は5月13日）。初めて出る葉は水面に浮かぶ浮葉となり、そのあと水面を突き抜けて展開する「抽水植物」らしい葉が出ると言われています。例年、岸から10～20m程の範囲で枯蓮を水面で刈りますが、枯蓮刈りをした範囲の方が浮葉が目立ちます。

4月15日、不忍池の岸の石垣に1mほどのアオダイショウがいて、石垣の隙間に潜り込んでいきました。5月1日、岸辺の園路から植え込みへ移動する幼蛇らしい短いへびを見ました。



また、カルガモを除いたカモ類やカモメ類が見られなくなった不忍池に5月13日、右脚に標識リング、首から背中にかけて発信機か記録計をつけたウミネコが1羽いました。人慣れして餌をねだっていました。

**しのばず自然観察会** 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方  
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL : <http://sinobazu.extrem.ne.jp>  
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000円 ほかに行事参加費

\*\*2019年以前の会費未納の方もお忘れなく！ 退会の場合は早めに葉書で事務局へ。\*\*